

12

ヨド物置 エスモ 組立説明書

(ESD- 1305E, 1305A, 1306E, 1306A, 1307E, 1307A, 1309A, 1505E, 1505A, 1506E, 1506A, 1507E, 1507A, 1509E, 1509A, 1605E, 1605A, 1606E, 1606A, 1607E, 1607A, 1609E, 1609A, 1805E, 1805A, 1806E, 1806A, 1807E, 1807A, 1809A, 1906A, 1907A, 1909A, 2106A, 2107A, 2109A)

このたびは「ヨド物置」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。
なお、この説明書は、1807A型を基準に書いてありますが、組立て方は、全タイプとも同じです。

- ### 設置場所の制限
- 建物の屋上には設置しないでください。
 - バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
 - 大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には、設置しないでください。
 - 崖のふち・風当たりの強い場所等安全の確認のできない場所には、設置しないでください。
 - 給湯器の前には設置しないでください。
- ### 注意
- アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。
 - 組立の際には手袋を着用してください。
 - 風の強い日・雨の日は、組立作業をさげてください。
 - 高い足場が必要な場合は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
 - 組立後各部のボルト・金具の忘れやゆるみがないか確認してください。
- ### お願い

※市販のコンクリートブロック(幅19cm×長さ19cm×高さ10cm)を、6個をご用意ください。

- ### 【施工にあたって】 安全のため必ず手袋を着用してください。
- 1.まず、御注文通りの商品かどうかを下の梱包組合せ表・梱包内容表にてご確認ください。
 - 2.基礎ブロックは市販のコンクリートブロックを御使用ください。
ブロックの大きさは巾19cm×長さ19cm×高さ10cmまたは巾19cm×長さ39cm×厚さ10cmのものが適当です。
 - 3.部品の共通化のために、実際には使用しない孔のあいている部材がありますので、説明書に従って組立してください。
 - 4.部材は、すべて、鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。

- ### 【安全にご使用のために】 ※取扱説明書を必ずお読みください。
- 1.庫内に入るときは、扉を開放状態にし、絶対に閉めないでください。また、庫内からの仮ロック解除方法(組立説明書本文「取手の操作方法」参照)を必ず確認してください。
 - 2.鍵により施錠する際は、庫内に入れない事を必ず確認してください。また、使用しないときは、必ず鍵による施錠をしてください。
 - 3.小さなお子様には、使用させないでください。
 - 4.使用される方に、上記内容を周知してください。

梱包組合せ表

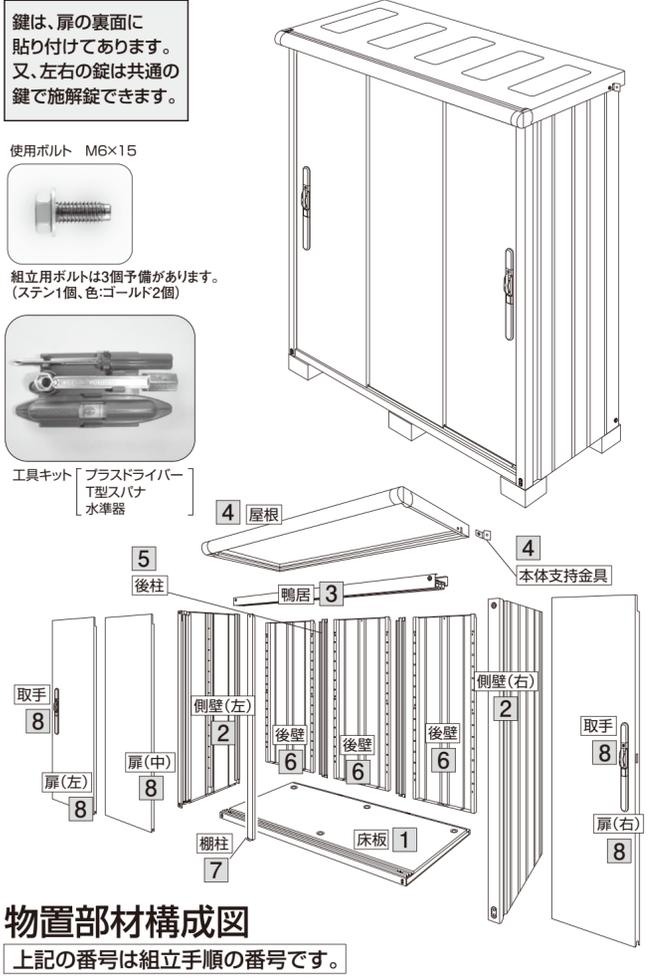
機種	1305E	1305A	1306E	1306A	1307E	1307A	1309A	1505E	1505A	1506E	1506A	1507E	1507A	1509E	1509A	1605E	1605A	1606E
側壁 梱包	ES4-0422	ES4-0432	ES4-0424	ES4-0434	ES4-0426	ES4-0436	ES4-0437	ES4-0422	ES4-0432	ES4-0424	ES4-0434	ES4-0426	ES4-0436	ES4-0422	ES4-0437	ES4-0422	ES4-0432	ES4-0424
床 梱包	-	-	ES4-0741	ES4-0741	ES4-0742	ES4-0742	ES4-0743	ES4-0744	ES4-0744	ES4-0745	ES4-0745	ES4-0746	ES4-0746	ES4-0747	ES4-0747	ES4-0748	ES4-0748	ES4-0749
屋根 梱包	ES4-0914	ES4-0914	ES4-0941	ES4-0941	ES4-0942	ES4-0942	ES4-0943	ES4-0944	ES4-0944	ES4-0945	ES4-0945	ES4-0946	ES4-0946	ES4-0947	ES4-0947	ES4-0948	ES4-0948	ES4-0949
後壁 梱包	ES4-1023	ES4-1033	ES4-1023	ES4-1033	ES4-1033	ES4-1033	ES4-1034	ES4-1024	ES4-1034	ES4-1024	ES4-1034	ES4-1024	ES4-1034	ES4-1024	ES4-1034	ES4-1025	ES4-1035	ES4-1025
扉 梱包	ES4-1723	ES4-1733	ES4-1723	ES4-1733	ES4-1733	ES4-1733	ES4-1734	ES4-1724	ES4-1734	ES4-1724	ES4-1734	ES4-1724	ES4-1734	ES4-1724	ES4-1734	ES4-1725	ES4-1735	ES4-1725
棚板 梱包	ES4-1920	ES4-1920	ES4-1923	ES4-1923	ES4-1926	ES4-1926	ES4-1928	ES4-1931	ES4-1931	ES4-1934	ES4-1934	ES4-1937	ES4-1937	ES4-1939	ES4-1939	ES4-1942	ES4-1942	ES4-1945
	ES4-1921	ES4-1921	ES4-1924	ES4-1924	ES4-1927	ES4-1927	ES4-1929	ES4-1932	ES4-1932	ES4-1935	ES4-1935	ES4-1938	ES4-1938	ES4-1940	ES4-1940	ES4-1943	ES4-1943	ES4-1946

機種	1606A	1607E	1607A	1609E	1609A	1805E	1805A	1806E	1806A	1807E	1807A	1809A	1906A	1907A	1909A	2106A	2107A	2109A
側壁 梱包	ES4-0434	ES4-0426	ES4-0436	ES4-0427	ES4-0437	ES4-0422	ES4-0432	ES4-0424	ES4-0434	ES4-0426	ES4-0436	ES4-0437	ES4-0434	ES4-0436	ES4-0437	ES4-0434	ES4-0436	ES4-0437
床 梱包	ES4-0749	ES4-0750	ES4-0750	ES4-0751	ES4-0751	ES4-0752	ES4-0752	ES4-0753	ES4-0753	ES4-0754	ES4-0754	ES4-0756	ES4-0757	ES4-0758	ES4-0759	ES4-0760	ES4-0761	ES4-0761
屋根 梱包	ES4-0949	ES4-0950	ES4-0950	ES4-0951	ES4-0951	ES4-0952	ES4-0952	ES4-0953	ES4-0953	ES4-0954	ES4-0954	ES4-0955	ES4-0956	ES4-0957	ES4-0958	ES4-0959	ES4-0960	ES4-0961
後壁 梱包	ES4-1035	ES4-1025	ES4-1035	ES4-1025	ES4-1035	ES4-1026	ES4-1036	ES4-1026	ES4-1036	ES4-1026	ES4-1036	ES4-1036	ES4-1037	ES4-1037	ES4-1037	ES4-1038	ES4-1038	ES4-1038
扉 梱包	ES4-1735	ES4-1725	ES4-1735	ES4-1725	ES4-1735	ES4-1726	ES4-1736	ES4-1726	ES4-1736	ES4-1726	ES4-1736	ES4-1737	ES4-1737	ES4-1737	ES4-1738	ES4-1738	ES4-1738	ES4-1738
棚板 梱包	ES4-1945	ES4-1948	ES4-1948	ES4-1950	ES4-1950	ES4-1953	ES4-1953	ES4-1956	ES4-1956	ES4-1959	ES4-1959	ES4-1961	ES4-1963	ES4-1965	ES4-1967	ES4-1969	ES4-1971	ES4-1973
	ES4-1946	ES4-1949	ES4-1949	ES4-1951	ES4-1951	ES4-1954	ES4-1954	ES4-1957	ES4-1957	ES4-1960	ES4-1960	ES4-1962	ES4-1964	ES4-1966	ES4-1968	ES4-1970	ES4-1972	ES4-1974

梱包内容表

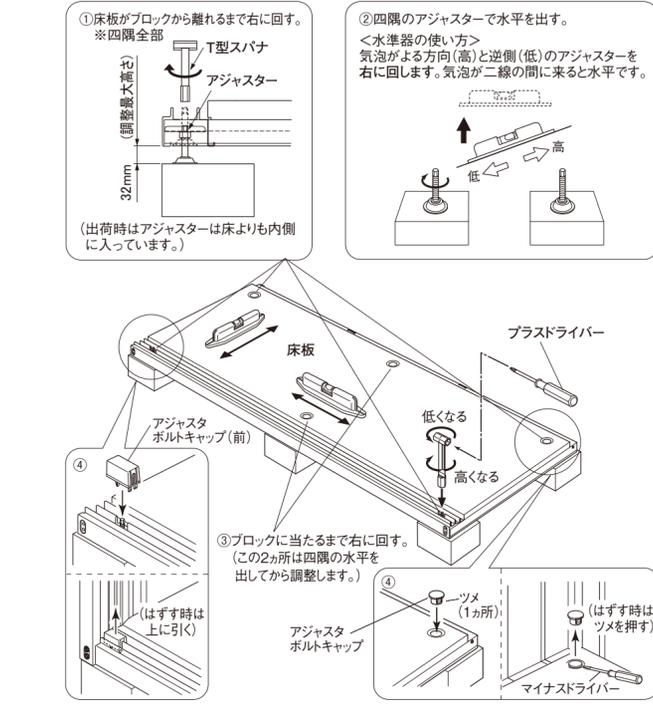
ご確認のうえ、説明書に従って組み立ててください。

梱包番号	屋根・床梱包			側壁梱包			後壁梱包			扉梱包		
	機種	機種	機種	機種	機種	機種	機種	機種	機種	機種	機種	
ES4-0741, ES4-0742, ES4-0743, ES4-0745, ES4-0746, ES4-0747, ES4-0749, ES4-0750, ES4-0751, ES4-0753, ES4-0754, ES4-0755, ES4-0756, ES4-0757, ES4-0758, ES4-0759, ES4-0760, ES4-0761	ES4-0744, ES4-0748, ES4-0752	ES4-0914	ES4-0941, ES4-0942, ES4-0943, ES4-0944, ES4-0945, ES4-0946, ES4-0947, ES4-0948, ES4-0949, ES4-0950, ES4-0951, ES4-0952, ES4-0953, ES4-0954, ES4-0955, ES4-0956, ES4-0957, ES4-0958, ES4-0959, ES4-0960, ES4-0961	ES4-0422, ES4-0424, ES4-0426, ES4-0427, ES4-0428, ES4-0429, ES4-0430, ES4-0431, ES4-0432, ES4-0433, ES4-0434, ES4-0435, ES4-0436, ES4-0437	ES4-1023, ES4-1024, ES4-1025, ES4-1026, ES4-1027, ES4-1028, ES4-1029, ES4-1030, ES4-1031, ES4-1032, ES4-1033, ES4-1034, ES4-1035, ES4-1036, ES4-1037, ES4-1038	ES4-1723, ES4-1724, ES4-1725, ES4-1726, ES4-1727, ES4-1728, ES4-1729, ES4-1730, ES4-1731, ES4-1732, ES4-1733, ES4-1734, ES4-1735, ES4-1736, ES4-1737, ES4-1738						
部 品 名	数 量			部 品 名	数 量	部 品 名	数 量	部 品 名	数 量	部 品 名	数 量	
屋根 根	-			側壁・右	1	扉 右	1	棚板	1	後壁 下 金 具	3	
床 板	1			側壁・左	1	扉 中	1	棚板 L	3	アンカープレート	4	
屋根 受	6			後 柱	2	扉 左	1	棚板 S	2	アジャスタボルトキャップ	4	
屋根 止 結 金 具	9			棚 柱	1	鍵	2本	アジャスタボルトキャップ(前)	2	組立説明書	1	
壁 止 結 金 具	18							取扱説明書	1	保 証 書	1	
鴨居取付金具左(右)	各1							組立チェックシート	1			
棚 受 金 具	12											
工 具 キ ャ ッ プ	1セット											
本 体 支 持 金 具	-											
セムスボルト(ステン)	9(予備1ヶ)											
セムスボルト(色:ゴールド)	38(予備2ヶ)											



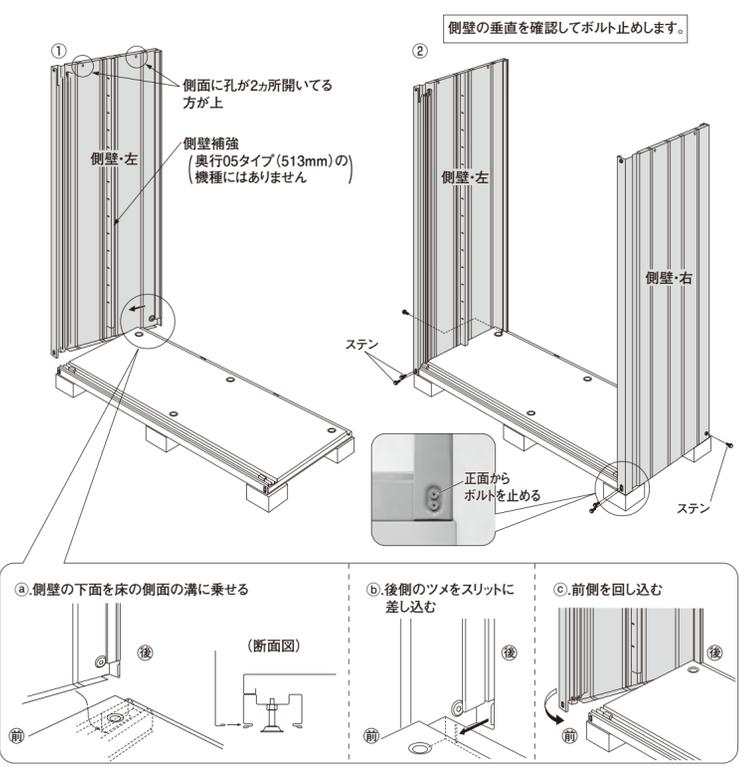
1 床板の設置

- ①ブロックの上に床板を置いて、四隅のアジャスターをT型スパナで、床板がブロックから離れるまで右に回します。固くて回らない時は、T型スパナの孔にプラスチックドライバーを差して回してください。
- ②水準器を床に置いて、低い所のアジャスターをT型スパナで右に回し、水平を出してください。
- ③最後に中央のアジャスター2か所をT型スパナで、ブロックに当たるまで右に回します。
※床の調整可能高さは32mmまでです。
- ④アジャスタボルトキャップを取付けます。前側の2か所はアジャスタボルトキャップ(前)を取付けます。
※水平の再調整をする時は、はずしてください。



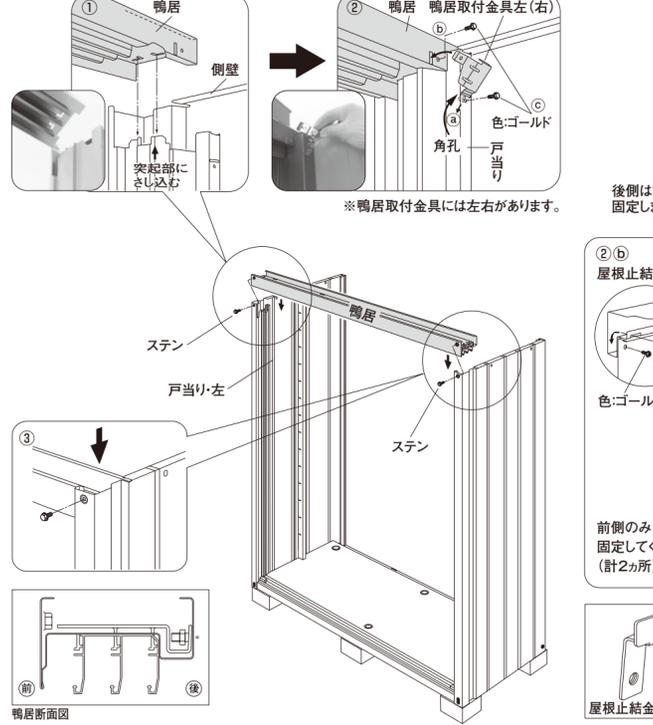
2 側壁の取付け

- ①側壁・左の下面の後端を床側面の溝に乗せます。
②側壁・左の後側のツメを床板のスリットに差し込みます。
③側壁を前方へ回し込みながら取り付けます。
- ②前側、後側をボルト(ステン)で固定します。先に後側を固定すると安定します。
- ③側壁・右も、同様にして取り付けます。
※強風により倒れることがありますので注意してください。



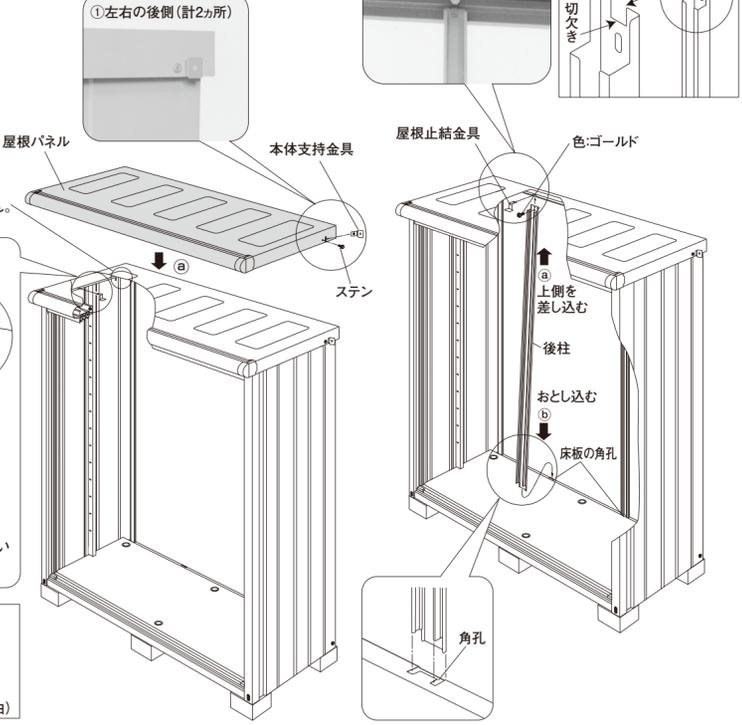
3 鴨居の取付け

- ①鴨居のL型の孔を戸当りの上側にある突起部に差し込みます。
- ②側壁と鴨居の直角を確認して鴨居取付金具の下側を戸当り側の室内側の角孔にさしこみます。
- ③鴨居取付金具を鴨居側に回し込み、鴨居と鴨居取付金具をボルト(色:ゴールド)止めします。
- ④戸当たりと鴨居取付金具左(右)をボルト(色:ゴールド)止めします。
- ⑤正面からボルト(ステン)止めします。

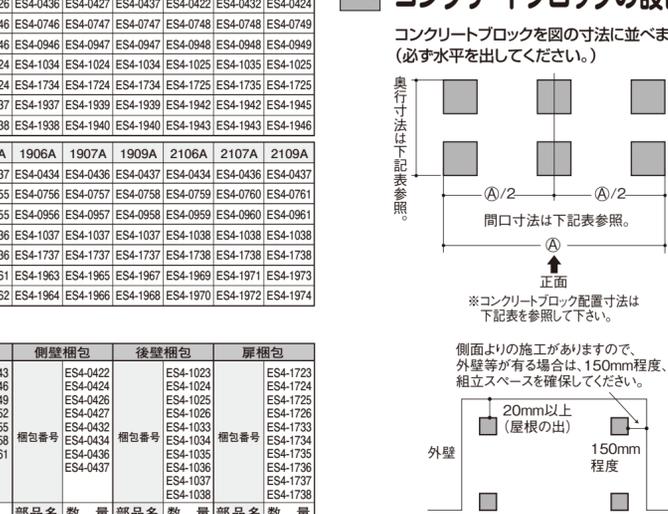


4 屋根パネルの取付け

- ①本体支持金具のボルト(ステン)を一度ははずして、金具を屋根パネルに差し込み、ボルト(ステン)止めします。
- ②屋根パネルを側壁と鴨居の上にかぶせます。
- ③屋根止結金具を屋根パネルの側面の角孔に差し込み、側壁と屋根パネルをボルト(色:ゴールド)で前側のみ固定します。後側は手順⑥で後壁を取付けてから固定します。



前工程 コンクリートブロックの設置



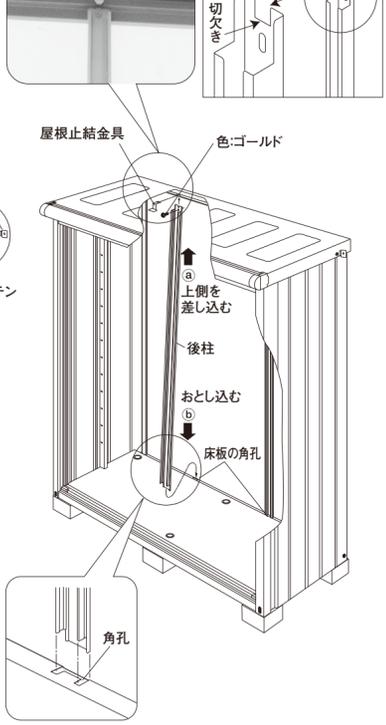
配置寸法表

機種名	間口寸法(A)	奥行寸法	機種名	間口寸法(A)	奥行寸法
1305E	1 350	5 1 3	1606A	1 650	6 50
1305A	1 350	5 1 3	1607E	1 650	7 50
1306E	1 350	6 50	1607A	1 650	7 50
1306A	1 350	6 50	1609E	1 650	9 00
1307E	1 350	7 50	1609A	1 650	9 00
1307A	1 350	7 50	1805E	1 797	5 13
1309A	1 350	9 00	1805A	1 797	5 13
1505E	1 497	5 1 3	1806E	1 797	6 50
1505A	1 497	5 1 3	1806A	1 797	6 50
1506E	1 497	6 50	1807E	1 797	7 50
1506A	1 497	6 50	1807A	1 797	7 50
1507E	1 497	7 50	1809A	1 797	9 00
1507A	1 497	7 50	1906A	1 950	6 50
1509E	1 497	9 00	1907A	1 950	7 50
1509A	1 497	9 00	1909A	1 950	9 00
1605E	1 650	5 1 3	2106A	2 100	6 50
1605A	1 650	5 1 3	2107A	2 100	7 50
1606E	1 650	6 50	2109A	2 100	9 00

※単位:mm

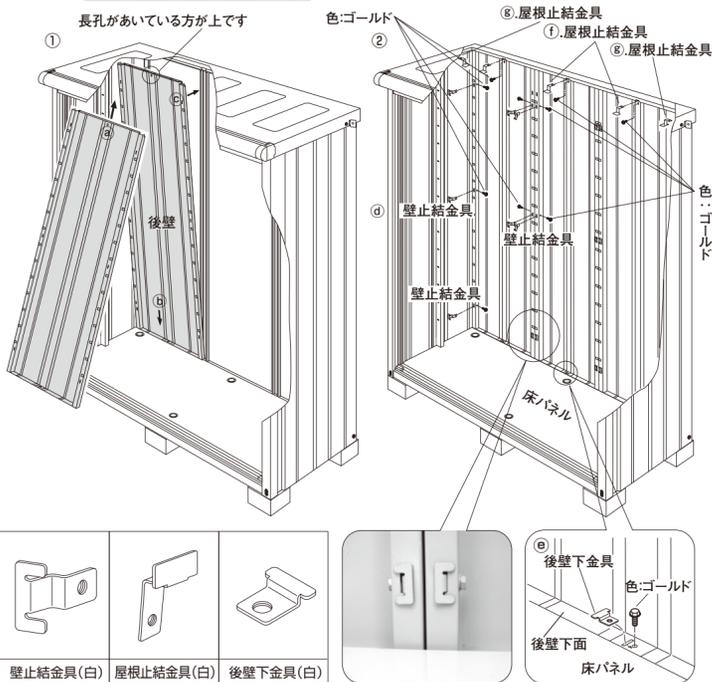
5 後柱の取付け

- ①後柱を屋根の角孔に深く差し込みます。
- ②床板の角孔に落とし込みます。
上側は屋根止結金具を手順④の②③と同様に差し込み、ボルト(色:ゴールド)止めします。



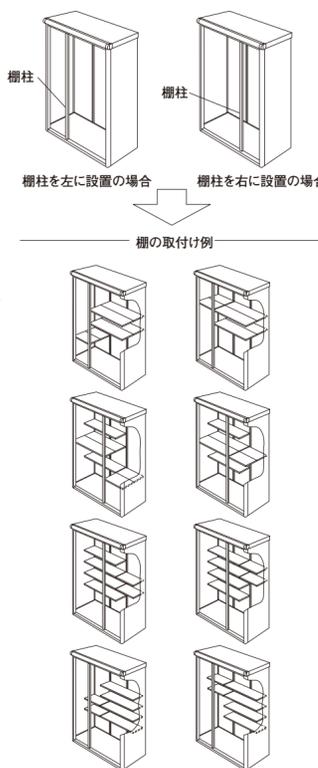
6 後壁の取付け

- ①後壁を上側から先に室内に入れます。
- ②上側を手前に引きよせ、下側を後柱と側壁の間に差し込み、落とし込みます。
- ③後壁を起こし上側をはめ込みます。
- ④壁止結金具を後壁の角孔に差し込み、ボルト(色:ゴールド)を仮止めします(壁止結金具を差し込み、ボルト止めしなくても一時的に後壁の転倒を防止できます。)
- ⑤後壁下金具を後壁下面の角孔に差し込み、ボルト(色:ゴールド)を仮止めします。後壁を3枚ともはめ込んだら④、⑤のボルトを締付けます。
- ⑥屋根止結金具を手前図の②と③と同様に後壁の中央部に差し込み、ボルト(色:ゴールド)止めします。
- ⑦側壁の後側も同様に固定します。

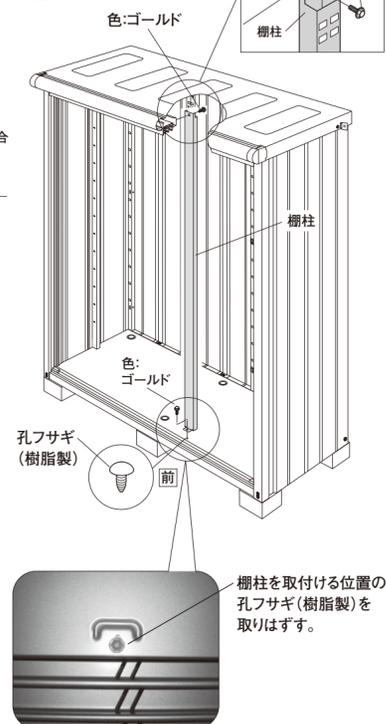


7 棚柱の取付け

〈1807Aの場合〉
棚はL4枚、S2枚の組合せで前後左右が分割の設定や2段組などの取付けができます。収納物や使い勝手を考慮し、棚柱の位置を決めてください。

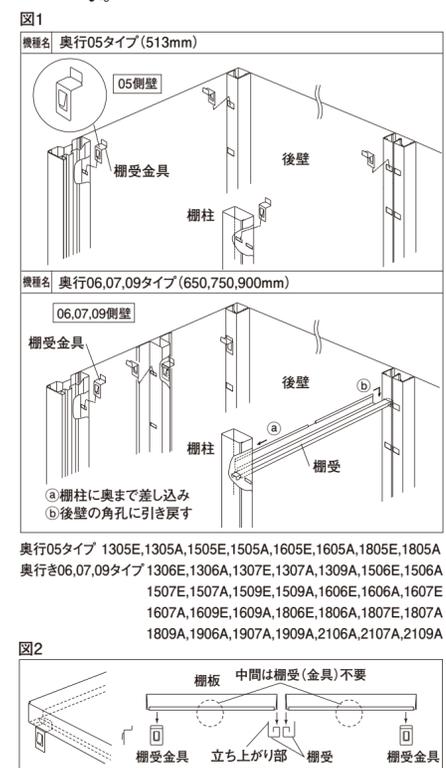


- ①棚柱を取付ける位置のみ床板についている孔フサギ(樹脂製)を取りはずします。
- ②棚柱の上側を鴨居に当ててボルト止めします。
- ③棚柱の下側を床板にボルト止めします。



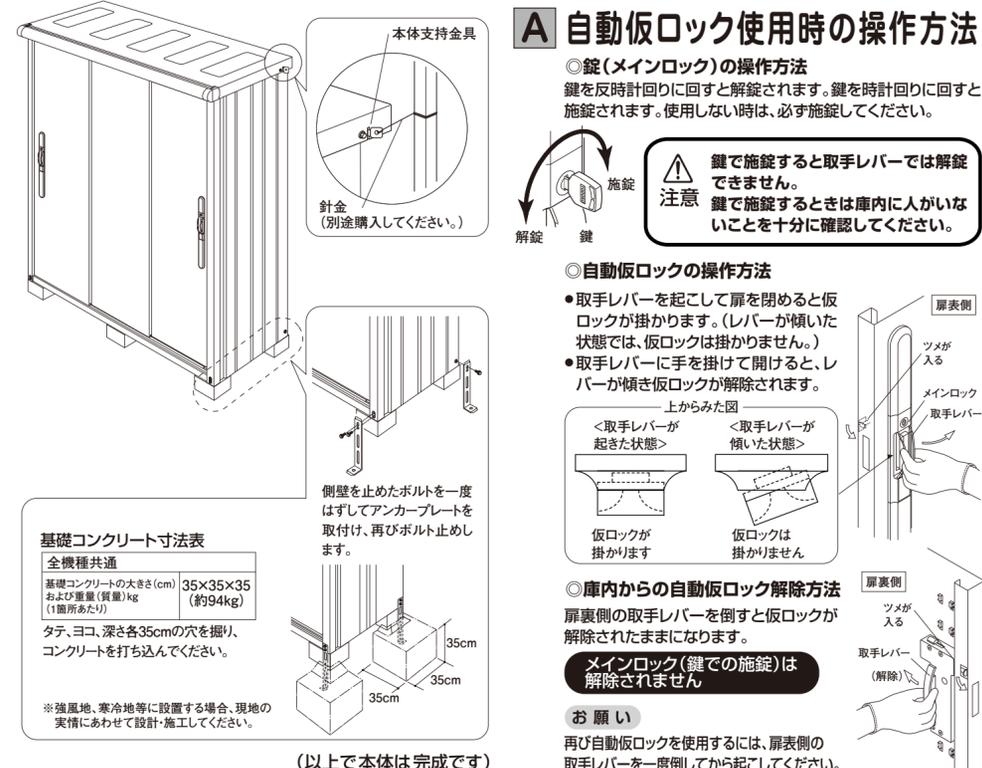
10 棚板の取付け

- ①図1のとおり棚受金具、棚受を後壁・戸当り・棚柱の角孔に差し込みます。
- ②図2のとおり棚板を棚受や棚受金具にはめ込みます。※棚受の立ち上がり部は棚板の脱落防止を兼ねていますので必ず棚板の内側にくるように取付けてください。



11 組立完成図

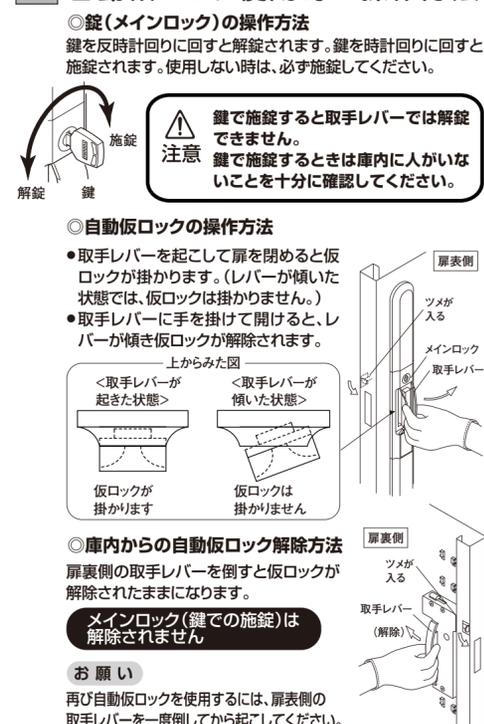
- ①転倒防止の為必ず本体支持金具に針金(針金は別途ご購入ください。)を通し、母屋などに固定するか、アンカープレートを前後4か所に取り付け、コンクリートを打ち込みます。
- ②最後に各部の直角を確認してボルトをもう一度しっかり締め直してお使いください。



取手の操作方法

- 自動仮ロック…扉を開ければ自動的に仮ロックがで、取手を引くと自動的に解除される設定を指します。
 - 手動仮ロック…手動で仮ロックと解除を切り替える設定を指します。
- 取手は自動仮ロックと手動仮ロックのいずれかを選んで使用します。出荷時は自動仮ロックになっていますので、手動仮ロックを使用する場合は手前図に沿って変更してください。

A 自動仮ロック使用時の操作方法



8 取手レバーの取付け・扉吊り込み

取手レバーは扉梱包に入っています。

- 注意**
- 必ず扉を吊り込む前に扉の表裏両面に取手レバーを取付けてください。
 - 取手レバーを取付けずに扉を吊り込み、閉めると仮ロックがかかるため、閉じ込められるおそれがあります。

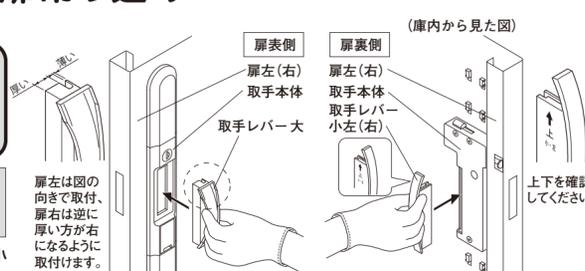
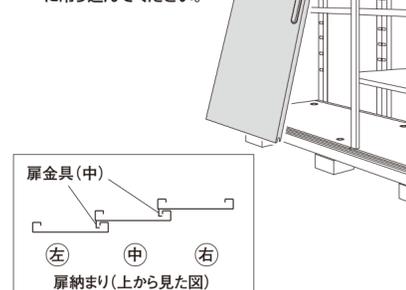
- 仮ロックがかかった場合の解除方法は、次の2通りがあります。
- ①取手レバーを取付け、仮ロックを解除。
 - ②取手レバー取付部の中にある軸をペンチ等でささみ回す。

扉の表側には取手レバー大を、扉の裏側には取手レバー小を取付けてください。

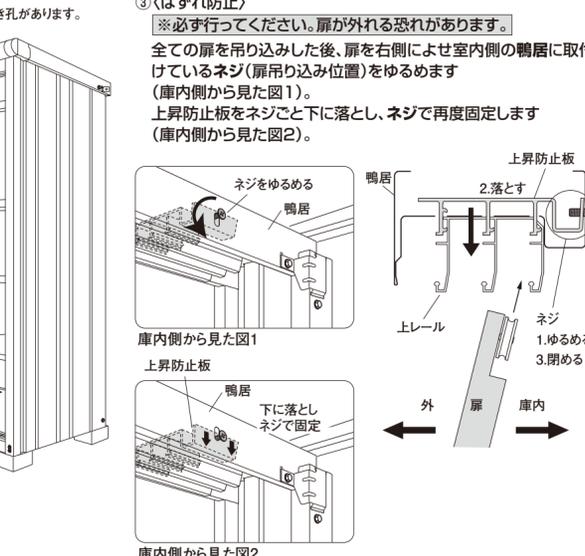
- ①取手レバーの上下の向きを確認して、取手本体に取付けます。取手レバーの上下のツメが「カチッ」となるまで押し込み、はずれない事を確認してください。

- ②吊り込み方法

扉の吊り込みは右・中・左の順に取付けます。戸車を上レール(アルミ)の切り欠き孔2ヶ所に差し込み扉を吊込んでください。
※他の位置では取付けできません。
又、2枚目以降の扉を吊込む時は必ず既に吊込んでいる扉に重なるように吊り込んでください。

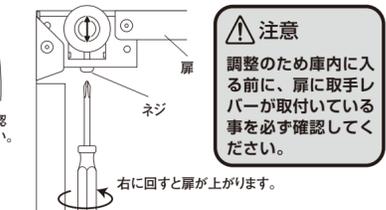


- ③〈はずれ防止〉
※必ず行ってください。扉が外れる恐れがあります。
全ての扉を吊り込みした後、扉を右側によせ室内側の鴨居に取付けているネジ(扉吊り込み位置)をゆるめます(庫内側から見た図1)。
上昇防止板をネジごと下に落とし、ネジを再度固定します(庫内側から見た図2)。

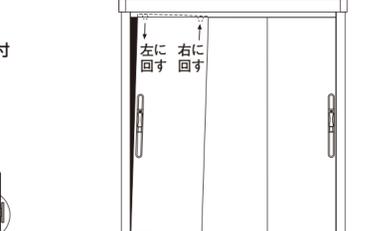


9 建付けの調整

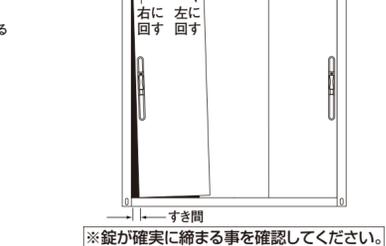
扉が物置本体に対し垂直になるよう、室内側から戸車のネジで調整します。



- ①上にすき間がある場合
(5mm以上の場合床の水平を出し直してください)

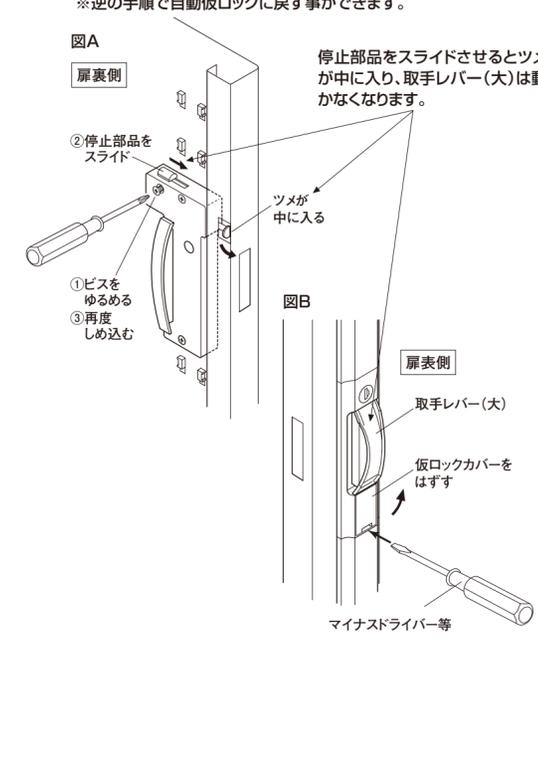


- ②下にすき間がある場合



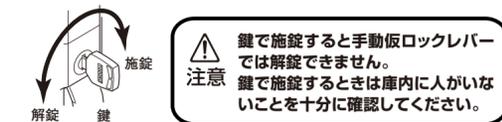
B 手動仮ロックへの変更方法

1. 取手の扉裏側に「停止部品」がビス止めされています。このビスをゆるめ(①)、扉裏側の取手レバーを起こしたままにしながら「停止部品」をスライドさせ(②)、ツメが出張っていない事を確認してビスを再度締め込みます(③)。(図A)
2. 扉裏側にある仮ロックカバーを外します。(図B) なくさないように保管してください。
※逆の手順で自動仮ロックに戻す事ができます。

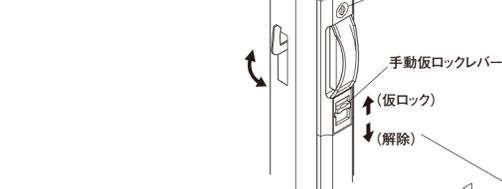


C 手動仮ロック使用時の操作方法

- 錠(メインロック)の操作方法
錠を反時計回りに回すと解錠され、手動仮ロックレバーが下がります。
錠を時計回りに回すと施錠され、手動仮ロックレバーが上がります。
使用しない時は、必ず施錠してください。



- 手動仮ロックの操作方法
●手動仮ロックレバーを上げると仮ロックがかかります。
●手動仮ロックレバーを下げると仮ロックが解除されます。
※施錠すると手動仮ロックレバーは「CLOSE」の状態に固定されます。



- 庫内からの手動仮ロック解除方法
扉裏側の取手レバーを倒すと仮ロックが解除されます。



この組立説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています

お客様へ
組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。

施工業者の方へ
取扱説明書は大切な書類です。本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。